

ピラゾキシフェン・ベンゾビスクロン剤 プレキープ (1キロ粒剤/フロアブル)	取扱メーカー： 石原 原体メーカー： 石原産業，エス・ディー・エス
成分： ピラゾキシフェン〔ピラゾール系 PRTR・1種〕10.0%（粒剤），20.0%（フロアブル） ベンゾビスクロン〔ビスクロオクタン系〕2.0%（粒剤），4.0%（フロアブル）	性状： 類白色細粒（粒剤） 類白色水和性粘稠懸濁液体（フロアブル） 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

〈共通〉

- 移植水稻・直播水稻に使用可能な初期除草剤。
- 直播水稻では，は種同時でも使用可能。
- 殺草スペクトラムが広く，ホタルイ，ウリカワ，ミズガヤツリ等の多年生雑草にも安定した効果を発揮する。
- 非スルホニルウレア系成分で構成されているので，スルホニルウレア抵抗性のコナギ，アゼナ類，ホタルイにもすぐれた効果を発揮する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

〈共通〉

- 共通注意事項の5．水稻除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 後処理剤との組み合わせで使用する。また，フロアブル剤の少量散布（300ml/10a）は特に一発処理型除草剤との組み合わせで使用する。
- 移植前又はは種前に使用する場合は，植代後に土が落ち着いてから散布し，7日以上の間隔をあけて稲を移植又はは種する。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので，ノビエの1葉期までに時期を失ないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので，必ず適期に散布する。

〈移植水稻〉

雑草名	散布適期	
	粒剤	フロアブル
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	発生始期まで	
オモダカ	発生前～発生始期 まで	—
ヘラオモダカ	—	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期	発生期まで

〈直播水稻〉

雑草名	散布適期	
	粒剤	フロアブル
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	発生始期まで	
ヒルムシロ	発生期まで	

〈粒剤〉

- オモダカは発生期間が長く，生育段階によって効果にフレがあるので必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

【薬効・薬害等の注意】

〈共通〉

- 共通注意事項の5．水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- いぐさ栽培予定田では本剤を使用しない。
- 適用作物（水稻）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

〈共通〉

- 無人航空機散布・滴下の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

〈粒剤〉

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

〈フロアブル〉

- 魚類、甲殻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。空容器等は適切に処理する。

【適用と使用法】

①プレキープ1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ オモダカ ヒルムシロ	植代後～移植7日前 又は移植直後～ ノビエ1葉期 但し、移植後30日 まで	1 kg	湛水散布	1 回 ※
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	は種時 湛水直播の 代かき後～ は種7日前又は は種直後～ ノビエ1葉期 但し、収穫90日前 まで		は種同時散布機で施用 湛水散布又は 無人航空機による散布	

※ピラゾキシフェンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内

②プレキープフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ へらオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	植代後～移植7日前 又は移植直後～ ノビエ1葉期 但し、移植後 30日まで	300～500 ml	原液湛水散布 又は無人航空 機による滴下	1 回 ※
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	湛水直播の代かき後 ～は種7日前 又は は種直後～ ノビエ1葉期 但し、収穫90日前 まで は種時		は種同時散布 機で施用	

※ピラゾキシフェンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内